

# 交通事故をなくそう

交通事故発生状況 (昭和37年中)

区 分	数	1 日 平 均
発生件数	18,358件	50.3件
死者	510人	1.4人
傷者	14,786人	40.5人

## 交通事故の重なる原因

### イ、車両側

徐行違反	4,700件	26%
わき見運転	1,970	10
追越不適當	1,500	9
酩酊運転	1,300	7
右左折不適	1,200	7
その他	7,200	37

### ロ、歩行者側

車の直前後横断	316件	64%
酩酊はいかい	38	8
踏切不注意	30	6
その他	114	23

## 歩行者の安全な歩き方

- ◎ 歩道と車道の区別のある道路では必ず歩道を歩きましょう。
- ◎ 歩道のない道路では右側を歩きましょう。
- ◎ 横断歩道のある所では必ず横断歩道を通りましょう。
- ◎ 横断歩道のない所では左右に十分注意して通りましょう。
- ◎ 道路を横断するときは、まっすぐに横断し斜横断はやめましょう。
- ◎ 車のすぐ前や後を横断することは危険ですからやめましょう。
- ◎ 交通信号をよく見てそれに従って通行しましょう。
- ◎ 踏切を渡る時は一たんとまって安全を確かめてから渡りましょう。

小さな親切を国民運動まで盛り上げよう。と本年六月茅東大学長や阿部真之助氏が寄り打合せをしたことは新聞紙上等で御承知のことと思います。

### 小さな親切運動とは

マッチのない人に火を貸したり、老人や子供に席をゆずる。道をきかれたら親切に教えたり危険な遊びをしている子供に注意をする等、本当にささやかな親切を、みんなそろってしようということだ。

### アメリカ人は

金のかゝらない親切だったら誰でもやる主義、習慣になつてゐるそうです。日本もだん／＼落着き、親切の心が芽生えてゐる。これをどん／＼育て、いつたらどんなにか社会が明る

## みな勇気をもって

## 小さな親切を

目 次

- みんな勇気をもって小さな親切を ..... 1 頁
- 交通事故をなくそう ..... 1 頁
- 選挙による農業委員決る ..... 1 頁
- 社会福祉協議会へ香典返しを寄附 ..... 2 頁
- 簡易保険第二回全国児童生徒作文コンクール ..... 2 頁
- 成人病 (2) ..... 2~3 頁
- 航空防除成功裡に無事完了す ... 2~3~4 頁
- 新生活運動 ..... 3~4 頁
- 稲作の水管理 ..... 4 頁
- 高血圧 ..... (2) ..... 4 頁

## 自転車の正しい乗り方

- ① 自転車に乗る前には、ブレーキがきくか、ブザーやリンがよく鳴るか、前照灯がちゃんとつくかなど調べる。
- ② 道路の一番左はしを走る。信号をよく守る。
- ③ 左、右に曲がろうとする時には必ず手の合図を正しくする。
- ④ 交差点で右折する時は、その前から合図をして進み、交差点の中心から離れた外側を通過して右折する。
- ⑤ せまい道から広い道に出る時は、右左の安全を確かめてから徐行できる。
- ⑥ 歩行者が道路を横断している時は、その人が安全に通れるよう保護するため、一たん止まる。
- ⑦ 踏切を渡ろうとする時は、必ず一度止まって安全を確かめてから渡る。
- ⑧ 二人乗りや、手放し運転など、あぶない乗り方は絶対にしない。
- ⑨ 曲り角や、急な下り坂では特にスピードを落し、注意して進む。

(子供さんには万-のため一度は、続んで聞かせてやって下さい。)

### 勇気をもって

自分の義務を果たすのも、小さな親切運動の一つ。先ず人に迷惑をかけないという心掛が大切です。それから人の親切をすなおに受け入れることも大事です。まだ日本人には習慣になつていないので、他人に親切にすることをほづかしがる人もあるが

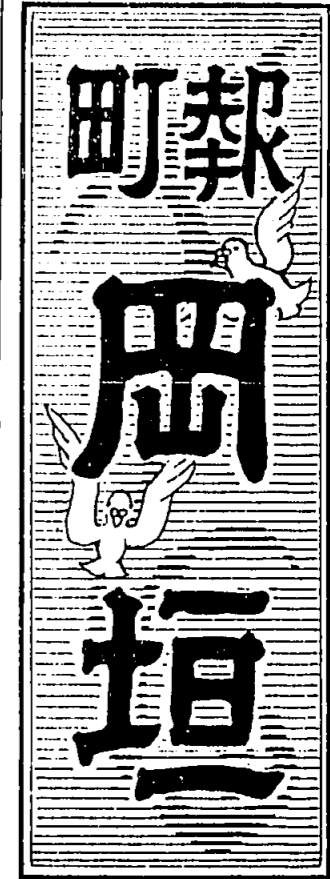
### その為には

くなるだろうか。

住 所	氏 名
野高上戸 黒波原 手吉	野 木 太田 晃
間倉畑切塚山津	花田 三三 務
吉大村 神屋 筑紫 本田 繁光	木村千代雄
邦 庸 英 門 繁 光	邦 武 一 清

昭和三十八年七月十五日執行の農業委員選挙は七月十一日の立候補締切り日に定数十名に対し立候補者十名であったので無投票で当選確定した。住所、氏名次の通り

## 選挙による 農業委員決る



発行所 岡垣町役場  
責任者 岡垣町長 俵口静江  
印刷所 有限会社 大和印刷所  
電話 東郷 27番

### 航空防除成功裡に無事完了す 7月4、5、6日三日間

本年初めての試みで実施した水稻害虫航空防除は、官民の見事な協力によりまして、無事成功裡に完了しました。

御協力御指導を戴いた上級官庁、農協、吉木小学校をはじめ、各農業組合長、防除班員の皆さんに厚く御礼申し上げます。

#### 1. 防除日誌

7月3日

午前11時爆音とともに、西日本空輸砂見操縦士塔乗のヘリコプターBELL47号は、ギラギラとてりつける七月の太陽を全身に浴びて、吉木小学校校庭に着陸した。

7月4日

午前3時30分雨の音を聞く。がっかり。雨では撒布は勿論出来ない。午前4時雨はやんだようだ。天なるかな、午前4時30分本部要員宿舎を出発、オ一基地手野に向う。4時50分手野ヘリポート薬剤航空燃料到着。境界標識。危険標識。誘導標識其の他準備完了。午前5時20分朝霧の中にヘリコプター姿を現わす。ものすごい下降風圧で稲をなびかせ乍ら無事着陸す。操縦士に対する撒布地域案内のため、本部副隊長亀石氏同乗して撒布予定地を一巡す。午前5時40分撒布開始3~8mの低空飛行のため、S・B粉剤見事稲穂に附着す。内浦、手野、新松原、三吉の一部が本日の予定地である。調査班から落下量の報告がランシーパーを通じて、次々に本部に入ってくる。落下指数5~6最良。当日曇天無風に近く上昇気流微弱、絶好の撒布日和なり。各部落から選出した防除要員実に見事に規律正しく。きびきびと行動し諸準備また良好。撒布は計画通り順調に進む。操縦士、部落要員、本部員に対する感謝の念しきり。午前8時一応予定地域110ha全部の撒布を完了す。午前8時以降は米軍の射撃演習のため、やむなく撒布を中止。あゝこの絶好の撒布条件のもとに惜しいかな。

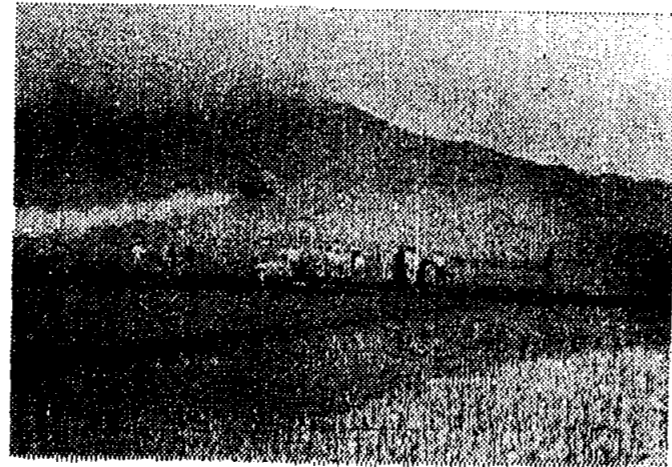
8時10分手野オ一基地を進発。振興課長同乗して繋留地吉木小学校に帰投す。かくてオ一日は終わった。

7月5日

オ二日小雨、午前10時雨があがったので撒布を開始。オ二基地三吉を変更して古小路に移す。時々小雨の襲来を受け中断したり又撒布したり、無駄な時間が流れる。午後3時30分予定地三吉、古小路、元松原、正矢口の撒布を終る。120haは撒布したであろう。

7月6日

絶好の撒布日和オ三基地高倉ヘリポート午前5時撒布を開始、古小路が終り矢口、高倉、野間を撒布す。オ四基地戸切ヘリポート午前8時30分撒布を開始9時30分終了かくて航空防除は無事終了す。



### 社会福祉協議会へ 香典返しを寄附

金一封

戸切石田三千夫氏より

父故石田豊秋氏(七十六才)

の香典返し

昭和三十八年五月十四日死亡

金一封

西黒山岩崎春喜氏より

父故岩崎久嗣氏(六十才)の

香典返し

昭和三十八年五月十二日死亡

金一封

海老津木原寿雄氏より

父故木原寛造氏(八十六才)

の香典返し

昭和三十八年六月二十二日死亡

金一封

元松原 平川キミ子氏より

母 平川サジュ氏(七三才)

の香典返し

昭和三十八年七月五日死亡

### 簡易保険第二回全国 児童生徒作文コンクール

この作文コンクールは郵政省  
主催、文部省、自治省はじめ教

育関係機関ならびに融資関係諸  
団体協賛のもとに実施されるの

ハ、満期保険金を受領され

で奮って応募されるよう。

1 応募資格 小学校五年、六年  
生。中学校一年、二年、三年生

2 課 題 (ア)簡易保険 (イ)簡  
易保険を内容とする自由題

3 長さ等 四〇〇字詰原稿用紙  
五枚以内

4 あて先 海老津局、岡垣局

5 切 昭和三十八年九月十  
五日

6 賞 文部大臣賞 五名

郵政大臣賞 五名

郵政局長賞 二三名

県知事賞 二三名

簡保局長賞 一五名

その他

作文コンクール応募上の  
参考までに

当町内の簡易保険に関する実状

1、簡易保険加入総数

(四、四〇〇件契約金額二  
億六千万円保険料月額一九  
〇万円)

ロ、昨年一カ年間に死亡保険  
金を受領されたもの(三八  
件三二一三万円、内倍額保険  
金二件一〇万円)

### 成人病

#### △高血圧になる原因

一番多い原因の分らない本態性高血圧については、全世界で原因の究明に努力しているが、遺伝ではないかともいわれている。ある研究によると、両親とも血圧が高いとその子供は七割位高血圧になり、片親が高血圧のときはその子供の半分が血圧が高く、両親とも、血圧が正常の場合はその子供の四割位しか血圧が高くないという。  
(以下三頁へ続く)

たもの(九三件二〇一万円)  
ニ、現在までに岡垣町で簡易  
保険より融資を受けた金額  
(二千六百七拾万円)

ホ、簡易保険の資金は義務教  
育、高校関係施設の整備、  
ダム、住宅、道路、橋等広  
く地元民の福祉の増進に大  
いに寄与されている。

—海老津郵便局—

### 2 撒布効果調査

#### A 航空撒布前調査

調 査 日	部 落 名	ヒメトビウ シンカ			ツマグロ			備 考	
		成	幼	計	成	幼	計		
7・3	手 野	0	0	0	49	0	49	すくい取り	
〃	〃	0	0	0	25	0	25		
7・4	正矢口	1	0	1	15	0	15		
〃	〃	6	0	6	15	0	15		
7・5	野 間	0	0	0	36	0	36		
〃	〃	0	1	1	20	1	21	畦畔 25 × 2	
7・3	手 野	1	1	2	90	46	136	本田 60株当り 調査地点	本田 払落 調査
7・4	正矢口	0	0	0	35	3	38	〃 〃 調査地点	
〃	〃	0	0	0	11	3	14	〃 40株 調査地点以外	
7・5	野 間	0	0	0	46	12	58	〃 60株 調査地点	
7・5	〃	0	0	0	20	3	23	〃 調査地点以外	

#### B 落下量の調査 並びに 撒布 3 日後の調査

##### 落下量調査

部 落 名	内 浦	手 野	手 野	〃	〃	〃	三 吉
調査時間	4日 5時59分	4日 6時05分	4日 6時10分	4日 6時15分	4日 6時34分	4日 6時55分	5日 10時45分
落下指数	3.16	5.52	6.00	6.00	6.4	6.16	6.00

(註)落下指数は5.00を標準とす。内浦は落下量不足のため補正撒布を行った。補正指数2.00

## 新生活運動 二

### 暮しについて話し合いましよう

#### (一)なぜ話し合いは効果があるか

イ、家族各人の願望や悩みや、問題点が明らかになる。  
自由な雰囲気での話し合いで、各人の願望等が明らかになり、効果的な対策がたられる。  
ロ、各人が尊重され、生かされる。

各人が持っている能力や、性格が明らかにされ、その長所を生かすことができ、当人も満足し、積極的に協力するようになる。  
各人の意志や、存在が無視されると、不平、不満や非協力的な態度になりやすい。  
ハ、各人の生活目標や家族の共同目標も設定することができ

#### (二)話し合いを成功させるには

イ、時と場所を考える。  
①夕食後などくつろいだ時に話し合う。  
②何か問題をとらえて。  
③折にふれ、お互いに話しかけ、話しをよくきく。  
ロ、話し合いのテーマは家族の願いや悩みから出発することが望ましいが、あらかじめ、要点をきめておき、家族が自分の考えをもつように資料を与えたり、研究をたのんでおくことが望ましい。  
ハ、話し合いで予想される内容を司会者ははっきりつかんでおく。  
ニ、話し合いの雰囲気を楽しくする。  
①皆んなが平等の立場でくつろいで話せるように。(司会者の輪番制など)  
②レクリエーションなどを取り入れる。  
③茶菓子などたまには準備する。  
ホ、話し合いを進めるうえの注意。  
①話し合いの目的を明らかにする。

(四頁へ続く)

然し高血圧は遺伝だけでなく生活環境の影響がある。

また米を沢山食べる地方には高血圧が多いともいわれ、塩分のとりすぎは高血圧の原因といわれている。

福岡県衛生部の調べでは、高血圧は漁村に最も多く、山間部農村の二倍近く、山間部農村でさえ、平坦地の二倍近い患者がいるとか。

#### △高血圧を予防するには

原因をつきとめ、その原因を取り除くこと。それには精密検査が大切。血圧測定、眼底検査レントゲン、心電図、それに尿や腎臓機能の検査を定期的に行けること。

保健所では成人病の予防や、治療の相談や、指導に応じている。

#### △「がん」について

がんについて紙上では到底書き尽くせないが、原因がまだはつきりしていないこと。早期に発見すれば、手術、放射線照射で治すことが出来ること。症状

が初期には痛み、熱等感じられない。

初期症状をのせておくので、思い当るふしがあったら医師の診断をうけて下さい。

◇原因が分らないのに、顔色が悪くなったり、やせたりする(すべての癌)

◇声がかすれ、なかなか治らない(喉頭癌)

◇咳が続くタンに血がまじる(肺癌)

◇物をのみこむとき、つかえるような気がする(食道癌)

◇長い間胃の具合が悪く、食欲が衰えたり、食べ物の好みが変わる(胃癌)

◇原因が分らないのに黒い便が出たり、便に血がまじったりする。(胃腸癌)

◇便が細くなったり、出が悪い(直腸癌)

◇「いぼ」や「あざ」が急に大きくなったり、長い間治らない潰瘍がある(皮膚癌)

◇外からふれる「しこり」特に乳房の中に消えない「しこり」は乳癌(乳癌)

◇出血したり、おりものがふえたりする(子宮癌)

三吉	〃	〃	吉木	高倉	下戸切	〃
5日 10時55分	5日 10時27分	6日 5時35分	6日	6日 8時00分	6日	6日 6時30分
5.68	5.28	6.80	5.80	7.08	5.80	6.60

C 払落とし調査

部落名	ヒメトビ			ツマグロ			備考	
	成	幼	計	成	幼	計		
海老津	2	8	10	18	35	53	撒布前調査	60株当り
野間	0	0	0	0	0	0	撒布3日後	60株当り
正矢口	0	0	0	0	0	0	〃	〃
手野	0	0	0	0	4	4	〃	〃

(註)海老津の無撒布区と対照区として調査した。

元松原①	0	0	0	0	0	0	撒布3日後	60株当り
〃②	0	0	0	0	0	0	〃	〃
〃③	0	0	0	0	0	0	〃	〃

(註)元松原撒布の際は小雨がふっていたので特にめんに密に調査したが効果を確認す。

D 撒布3日後二化メイ虫生死調査

部落名	回数	二化メイ虫 (幼虫)	
		生	死
海老津	25回 × 3	7	0
	25 × 3		
	25 × 3		
野間	25 × 3	0	6
	25 × 3		
	25 × 3		
手野	25 × 3	0	6
	25 × 3		
	25 × 3		
正矢口	25 × 3	0	13
	25 × 3		
	25 × 3		
元松原	25 × 3	—	—
	25 × 3		
	25 × 3		
〃	25 × 3	—	—
	25 × 3		
	25 × 3		
〃	25 × 3	—	—
	25 × 3		
	25 × 3		

D すくい取り調査

海老津	1	0	1	23	0	23	本田	25回 × 3
野間	0	0	0	11	0	11	畦畔	25 × 3
手野	0	0	0	0	0	0	本田	25 × 3
正矢口	0	0	0	0	0	0	畦畔	25 × 3
元松原	0	0	0	0	0	0	本田	25 × 3
〃	0	0	0	0	0	0	畦畔	25 × 3
〃	0	0	0	0	0	0	本田	25 × 3
〃	0	0	0	0	0	0	畦畔	25 × 3

3最後に

上表のように撒布前と撒布後、無撒布区の海老津との対照で航空防除の効果はまことに顕著であった事がお判りになった事と思います。特に天候の制約をうけることが甚しいので、其の点大変心配しましたが、お陰様でまずまずの天候だったので予定通り完了しました。効果も確認したし撒布10日後もう一度調査の予定です。来年度は全町的に撒布を拡大出来ればよいかと思っております。

農業振興課

稲作の水管理

現在の稲作では、十アール当り、大体晩稲で千二百屯から千四百屯の水を使っているが、もっと節約の余地があるようです。稲の要水量は生育時期によって著しく異なります。水を多量に必要とする時期は、整地後のかん水から、田植え、活着にわたる期間、穂孕期を中心とする穂の発育期間、出穂開花期です。これに反し、分けつ期はかなり少量の水ですむわけですが、この点は実際の水管理の上から極めて大切なことです。無効分けつ期間に行なっている中干(土用干)のおもな効果



は、土中深くに酸素を豊富に送って根の衰えを防ぐこと、窒素の過剰吸収をおさえ、加里の吸収をよくして稲をかた出来させることです。したがって有機質の多い田、排水不良田、根腐秋落田、加里欠乏田などは特に効果があがります。暖地の稲作は水をもっと少なく使って、土壌中の酸素の問題と関連して根の力を長もちさせることが一番大切です。

家族の願いや、悩みを出し合って、その解決策を話し合い個人の生活目標や、家族の共同目標や、その実現方法まで漸次進めることが望ましい。②自己満足より効果を大事に自己宣伝や、説得が先にならたがる。相手の要求を満し、

効果をあげるには、長所を伸ばすことを考えるがよい。③話し上手に聞き上手であること。肯定的に話し合うことがよい。④感謝の言葉や、敬語を使うこと。明るい態度で話し合うこと。

高血圧

血圧が高いことが分かつたら

血圧が高いといわれると、非常に気にする人があがるが、それは養生の上からはよくないし、反対に余り無関心なのも危険です。では一体高血圧とはどんな病気だろうか。

高血圧とは

四十才頃から六十才頃までに血圧の高くなる症例のうち、九〇%前後は学名で、本態性高血圧と呼び、遺伝によって血圧が高くなる病気。又、六十才以上になって始めて血圧の高くなるのは、本態性高血圧かどうか区別がむづかしいが、動脈硬化のために血圧が高くなる。いわゆる老人性の高血圧であることが多い。

いずれにしても、血圧は年齢とともに上昇する傾向があつて六十才以上の男子の約40%女子の50%以上が、正常血圧の限界値(それを越えると高血圧と診断される値)である最高150mmhg及び最低90mmhgを越え

血圧は変動する

高年齢者になって血圧の高くなった人では、とくに血圧の動揺の幅が大きく、ある日の血圧は200mmhg近くあるのに、他の日に計ると150mmhg以下であることも珍らしくない。この動揺は睡眠不足が重なるとか、心配ごとが続くとか、何か気に入らないことがあるなどの精神上的の問題や、便通がよくない、塩けの多いものを食べすぎたなどの原因でも、簡単に血圧は高くなる。このように、日に、時間によって相当変動する血圧をいさぐに気にするのは精神的に不安を増し、そのことが原因で血圧がさらに上がったたりして、かえってわるい結果を招く。(以下次号)